

# THERE IS HOPE

## 東北支援活動

活動報告  
2014年3月



ショップ・ジャパン®  
ショップ ジャパン × HOPE =  
**Genki Japan**

HOPE International  
Development Agency



HOPE International  
Development Agency

ホープ・インターナショナル開発機構

## 支援者の皆様

2011年3月11日。あの日の事を今でも鮮明に思い出します。あれから3年、私たちはこれまでに東北地方の約20の地域で、70もの緊急支援や経済的自立支援を実施して参りました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と深く感謝しております。

しかし、被災地では復興に向け日々進んでいる一方で、未だ支援を必要としています。仮設住宅で孤立する高齢者、PTSD(心的外傷後ストレス障害)に苦しむこどもたち、雇用問題など多くの課題が浮き彫りになってきており、今後は特に社会的弱者へ目を向けていく必要があります。

ホープは引き続き東北での活動を行って参ります。東北の明るい未来のために、ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

理事長      **ハリー・A・ヒル**

アジア・オセアニア地区ディレクター  
**ロウエル・シェパード**

## ご支援いただいた皆様

### 株式会社 オークローンマーケティング

ACOP  
The Acts Foundation  
Assisi Foundation  
Baxter International Foundation  
**en world** Japan  
GlobalMedic

Herman Miller, Inc.  
Japan Coast to Coast  
Morrison & Foerster Foundation  
R Torre & Company, Inc.  
The Tokyo Canadian Club

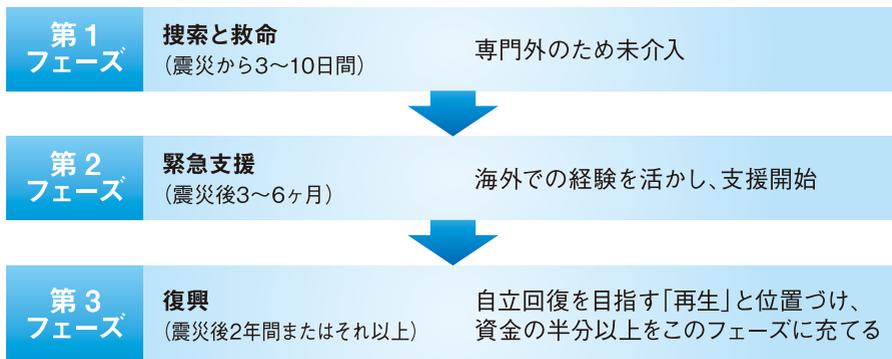
株式会社 アバンテック  
株式会社 エイチアンドアールコンサルタンツ  
エクソンモービル有限会社  
キャンonderール・ジャパン株式会社  
コストコ ホールセール ジャパン 株式会社  
JX日鉱日石エネルギー株式会社  
シャープ株式会社  
ジャパン・プラットフォーム  
少林寺拳法愛知東浦支部  
ゼスプリ インターナショナル ジャパン株式会社  
全日本空輸株式会社  
ソフトバンク株式会社

タイ国ボーイスカウト協会  
武田産業株式会社  
日本コカ・コーラ株式会社  
日本テトラパック株式会社  
ヒルトン名古屋  
富士ゼロックス株式会社  
三菱マテリアル株式会社  
Convoy of Hope  
International Aid  
Wine into Water  
全国の個人の方々 他

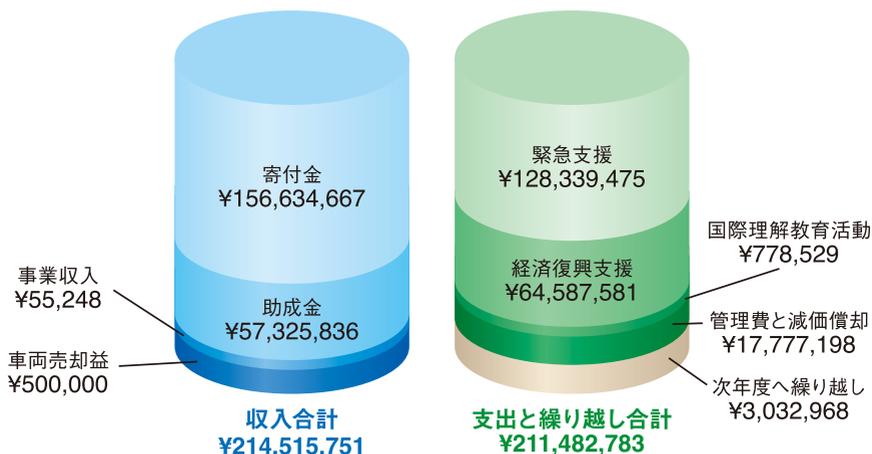
これらの支援が、迅速な救援物資支援と長期的な経済自立支援につながりました。

## 東北支援の3段階

ホープは海外での経験をもとに、3段階の支援計画を策定・実施しました。



## 会計報告 (2011年3月～2013年9月)



収 入		支 出 と 繰 り 越 し	
寄付金	¥156,634,667	緊急支援	¥128,339,475
助成金	¥57,325,836	経済復興支援	¥64,587,581
事業収入	¥55,248	国際理解教育活動	¥778,529
車両売却益	¥500,000	管理費と減価償却	¥17,777,198
<b>収入合計</b>	<b>¥214,515,751</b>	<b>支出合計</b>	<b>¥211,482,783</b>
		次年度へ繰り越し	¥3,032,968
		<b>合計</b>	<b>¥214,515,751</b>

注：上記は2011年3月から2013年9月末までの財務概要です。ホープの会計年度は10月から9月となっております。

## 第3フェーズの活動 経済的自立支援

第3フェーズでは2名の東北開発オフィサーが現地に駐在。復興に向けて活動する現地パートナーと信頼関係を築き、2011年6月～2013年9月の活動期間中に約1億円の寄付金を充当し、57のプロジェクトを支援しました。現在、41のパートナーが被災地で活動に取り組み、被災地の復興に貢献しました。

### ◆生業(なりわい)自立支援

漁業、農業など生計を立てるための事業の新規立ち上げや再開を支援し、雇用促進、コミュニティの再生などにつなげました。



### ◆カフェ設立支援

カフェ開設のための設備やノウハウを支援し、コミュニティに対話の場を提供しました。



### ◆小規模事業支援

女性など社会的弱者の起業や活動を支援し、勇気づけ(エンパワメント)しました。



### ◆テント支援

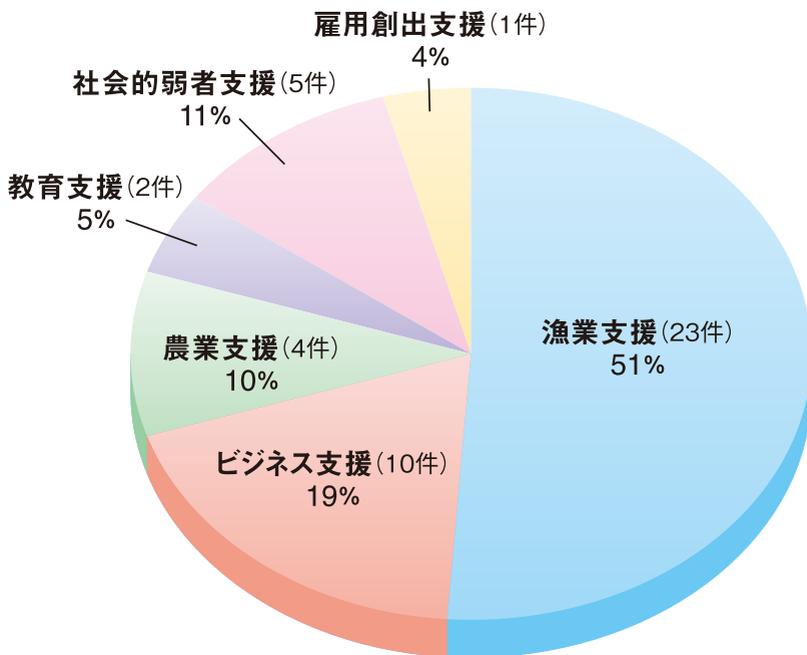
カナダのNGOグローバルメディックより寄付された、46基のテントと30基のプレハブを設置しました。テントやプレハブは商業施設や、漁業関係の加工場として活用されています。



### 第3フェーズ経済的自立支援 助成金額内訳

支援の種類	助成金額	件数
生業自立支援	¥99,245,046	45
カフェ設立支援	¥2,000,000	4
小規模事業支援	¥1,999,100	4
テント支援	¥1,149,000	2
イベント支援	¥1,310,200	2
<b>合計</b>	<b>¥105,703,346</b>	<b>57</b>

生業自立支援総額 ¥99,245,046 (45件)の内訳



※2013年9月末現在(助成申請金額をベースに算出)

# 支援プロジェクト一覧

※支援内容末尾の( )内数字はプロジェクト件数  
※申請書提出順

## 1) 生業自立支援

### 漁業支援

パートナー：三英工機

地 域：南三陸町馬場中山

支援内容：船舶整備工場再建(2)

パートナー：馬場中山養殖組合

地 域：南三陸町馬場中山

支援内容：漁船購入視察、漁船購入・回航、漁船漁労設備工事(3)

パートナー：気仙沼大島青年漁業者

地 域：気仙沼大島

支援内容：牡蠣養殖いかだ資材用竹購入

パートナー：石浜地区漁業者

地 域：南三陸町石浜

支援内容：岸壁臨時かさ上ブロック設置、養殖加工場設置(2)

パートナー：稲渚養殖組合

地 域：南三陸町稲渚

支援内容：共同利用倉庫設置

パートナー：給分浜牡蠣組合

地 域：石巻市牡鹿半島給分浜

支援内容：漁業用防寒用品購入

パートナー：牡鹿漁協

地 域：石巻市牡鹿半島鮎川浜

支援内容：漁業作業場用テント設置

パートナー：小渚浜わかめ牡蠣兼業グループ

地 域：石巻市牡鹿半島小渚浜

支援内容：漁業作業場・倉庫設置

パートナー：唐桑漁協

地 域：気仙沼市唐桑

支援内容：漁業用保管庫・休憩所設置

パートナー：田ノ浦養殖組合

地 域：南三陸町田ノ浦

支援内容：わかめ養殖用漁業用ロープ、船台購入(2)



パートナー：宮城県漁業協同組合表浜支所  
地 域：石巻市牡鹿半島表浜  
支援内容：ワカメ集荷施設レンタル設置



パートナー：宮城県漁業協同組合 女川支所尾浦支部  
地 域：女川町尾浦  
支援内容：漁船巻上機設置

パートナー：細浦地区ワカメ組合有志  
地 域：南三陸町細浦  
支援内容：養殖作業用仮設テント設置場所基礎工事



パートナー：寺間地区ホタテ・ホヤ養殖グループ  
地 域：女川町出島寺間  
支援内容：養殖用漁具購入

パートナー：蔵内之芽組  
地 域：気仙沼市蔵内  
支援内容：ワカメ保管用冷蔵庫購入



パートナー：唐桑漁協牡蠣部会  
地 域：気仙沼市唐桑  
支援内容：かき小屋誘導サイン購入

パートナー：寄磯ウニ・アワビ漁師グループ  
地 域：石巻市寄磯浜  
支援内容：漁業用品購入



パートナー：ヤマセ高橋水産  
地 域：石巻市雄勝町  
支援内容：加工場の設備購入

## ビジネス支援

パートナー：牡鹿復興支援協議会  
地 域：石巻市牡鹿半島鮎川浜  
支援内容：牡鹿復興市備品購入



パートナー：石巻工房  
地 域：石巻市  
支援内容：住民向け家具及びデザインワークショップ開催

パートナー：Green Farmers Association  
地 域：南三陸町  
支援内容：新規農業プロジェクトの活動PR



パートナー：ルーツカフェ  
地 域：石巻市  
支援内容：カフェ開設工事



パートナー：夢未来南三陸協議会  
地 域：南三陸町  
支援内容：産地直売所「みなさん館」設備購入

パートナー：がんばってっちゃ牡鹿  
地 域：石巻市牡鹿半島  
支援内容：地元特産品宣伝広告機材購入



パートナー：谷地・間垣生産組合  
地 域：石巻市大川地区  
支援内容：大川農産事務所としてのユニットハウス購入

パートナー：てらっばたけ  
地 域：石巻市雄勝町  
支援内容：そば屋厨房機器購入



パートナー：NPO 法人ピースジャム  
地 域：気仙沼市  
支援内容：ジャム加工場の設備購入

パートナー：NPO ワタママスマイル  
地 域：石巻市渡波  
支援内容：宅配お弁当店(ワタママ食堂)建設費、設備費



## 農業支援

パートナー：Green Farmers Association  
地 域：南三陸町内各地  
支援内容：農業スタート資金と備品購入(2)

パートナー：朝どり  
地 域：岩沼市  
支援内容：農産物直売所店舗建設費



パートナー：網地島支援会  
地 域：石巻市網地島  
支援内容：農業機具購入

## 教育支援

パートナー：一般社団法人オージーイー・フォー・エイド  
地 域：南三陸町黒崎  
支援内容：コミュニティラーニングセンター開設(2)



## 社会的弱者支援

パートナー：Kamizoku House Church Network

地 域：石巻市

支援内容：インドアクライミング施設  
ROCK Ishinomaki 設置



パートナー：惣菜とおやさいの店たまねぎ

地 域：塩竈市

支援内容：移動販売車改造費



パートナー：一般社団法人 チーム王冠

地 域：石巻市中里

支援内容：施設としてのユニットハウス購入



パートナー：吉浜自治会

地 域：石巻市北上町

支援内容：公民館としてのプレハブ購入

パートナー：波板地区会

地 域：石巻市雄勝町

支援内容：工房としてのプレハブ購入



## 雇用創出支援

パートナー：認定NPO法人国際ボランティアセンター山形

地 域：石巻市

支援内容：家屋の泥かき、瓦礫撤去、解体作業のキャッシュフローワーク



## 2) カフェ設立支援

パートナー：一般社団法人 コミュニティワークスジャパン

地 域：名古屋市

支援内容：被災地におけるカフェ設置支援基盤整備



パートナー：一般社団法人オージーイー・フォー・エイド

地 域：南三陸町黒崎

支援内容：コミュニティセンター内カフェ開設

パートナー：理容室どれっしんぐ

地 域：南三陸町歌津

支援内容：理容室内カフェオープン

パートナー：女川アートギルドカンパニー

地 域：女川町

支援内容：アトリエ内カフェ開設

### 3) 小規模事業支援

パートナー：理容室どれっしんぐ  
地 域：南三陸町歌津  
支援内容：エステサロン備品購入

パートナー：スタイリングルームプラス  
地 域：南三陸町歌津  
支援内容：理容チェア購入

パートナー：ダイシン  
地 域：女川町  
支援内容：オリジナル風呂敷制作費用

パートナー：一般社団法人こころスマイルプロジェクト  
地 域：石巻市中里  
支援内容：被災女性の活動を応援する展示会開催費用



### 4) テント支援

パートナー：GlobalMedic (カナダ)  
地 域：宮城県内各地  
支援内容：2012年4月と2013年4月、7月3回に渡り大型  
テント46基とプレハブ30基を設置(2)



### 5) イベント支援

パートナー：Japan Coast to Coast  
地 域：石巻市牡鹿半島  
支援内容：東北サイクリングフェスティバル  
参加者スカラシップ、備品整備(2)



## 漁業支援の事例

### わかめ養殖漁用冷蔵庫購入

地 域：気仙沼市蔵内地区

支 援 額：190万円

パートナー：蔵内之芽組

津波でわかめの養殖施設や船を失った仲間4人が「蔵内之芽組」を結成し、多くの人々の協力のもと、2012年にわかめ養殖を再開しました。オリジナルブランド「こいわかめ」の販売を始めましたが、わかめを長期保存できる冷蔵庫がなく、夏にはカビが発生してしまうため、広く宣伝・販売をすることができていませんでした。

2013年、ホープの支援で冷蔵庫を購入しネット販売も開始したところ、販売網が広がり、収穫時には近隣の住民を短期雇用する程になりました。雇用促進にもつながり、蔵内地区の復興の象徴となっています。

<http://kurauchi-no-megumi.jp/index.html>



## ビジネス支援の事例

### 農業生産法人「大川農産株式会社」設立準備室設置

地 域：石巻市大川地区

支 援 額：189万円

パートナー：谷地・間垣生産組合

被災した住民自ら谷地、間垣の2つの生産組合を母体とした農業生産法人「株式会社宮城リスタ大川」を設立し、より競争力のある組織での営農再開を目指しました。会社設立に向け、会議スペースが必要となり、ホープがユニットハウスの購入を支援しました。

現在は、農地を委託希望者から借り受けて、水稲、米の転作作物（野菜栽培など）、園芸作物の3つを柱として事業を展開し、農業復興の新しい試みとして注目を浴びています。ユニットハウスは、今でも会社の事務所として使用されています。



## 農業支援の事例

### 網地島 農業特産品づくり事業

地域：石巻市網地島

申請額：356,090円

パートナー：網地島支援会

人口約480人だった、牡鹿半島の南西に位置する網地島。震災後、人口は300人にまで減少しました。島人の多くは銀鮭の養殖など漁業に従事していましたが、津波で130隻あった船のほとんどが流失し、小規模の漁師は廃業せざるを得ない状況でした。

このような中、島の休耕地を開墾し、かつて島の特産品であった「あっふぁ芋」(じゃがいも)を収穫販売することで、再び島の特産品として復活させることを島人と協力者が計画。必要な農機具などをホープが支援することで計画が実現しました。

2013年に「あっふぁ芋」を収穫し販売すると、価格の安さと品質の良さから好評のうちに完売しました。特産品を通した町おこしとなり、人口流失の防止となることが期待されています。



## 社会的弱者支援の事例

### 被災児童および被災高齢者支援施設設置事業

地域：石巻市

支援額：200万円

パートナー：一般社団法人 チーム王冠

震災以降、児童が放課後や長い休みの間体を動かして遊べる場所がありませんでした。学習塾なども被災し、学習時間が大幅に減っていることに危機感を持った「チーム王冠」は、自らの事務所の一室で学習支援や児童クラブを実施していました。しかし、スペースに限りがあり、児童が多いときには車内で学習しなければならない状況でした。

ホープの支援によりユニットハウスを購入し、現在、より多くの児童が施設を訪れ、ストレスの発散や学習の場として活用されています。児童が学校へ通っている間は、孤立したお年寄り向けに「お茶っこクラブ」として集まる場所を提供し、コミュニティー再生への貢献もしています。



## 東北のパートナーより

### 田ノ浦養殖組合(南三陸町)



田ノ浦養殖組合員みなさんへ  
ありがとうございました。こいすす。  
ありがとうございました。

### 美容室スタイリングルームプラス(南三陸町)



自分の仕事への思いを南にしていた。ゆれ事の不安な状況  
を、人に話せたこと(継続的に)自分の確認ができて  
ました。ホーアの支援は、心の支援!! 支えていた  
ました。ありがとうございました。  
あとは、頑張る、傷ついていきます。

### ダイシン(女川町)



今回、いろいろと、本当にたくさん学ばせていただきました。  
少しでも前に進み、次のステップを踏めるよう頑張りたいと思っております。  
心から、どうぞ宜しくお願いいたします。

心から感謝を込めて。

# 被災地のいま

## 復興への課題

### 1. 社会的弱者(こども、高齢者)支援の必要性

2012年度の学校基本調査において、宮城県の中学校不登校生徒数は全国1位でした。県内では、仮設住宅から通学している生徒も多く、中学生全体の3.08%(前年度2.92%)が30日以上欠席しており、震災の影響が大きいと考えられています。(全国平均は2.56%)。

震災後3年を経て、こどもや高齢者など社会的弱者が問題を抱えていることが表面化しはじめています。がれきの撤去や町の復興計画など表面的な復興は進みつつある一方で、親から離れられないPTSD(心的外傷後ストレス障害)のこどもや、引きこもりによる運動不足が引き起こす肥満、高齢者の孤立や仮設住宅での孤独死など外部からは見えづらい問題が表面化してきており、今後も長期にわたる支援が必要とされています。



### 2. マーケティングなど専門的な指導の必要性

様々な団体の支援により漁業などの産業が復旧復興されましたが、その一方、被災地では復興商品の販売競争が激化しています。企業から支援を受けている商品はパッケージなどが洗練され、全国へ販売できる機会も多いのですが、漁師自身やボランティアが手がけた商品は、復興商品として買い手がつくものの、震災から時間が経つと継続して販売できる可能性が低く、長期的な観点から、加工技術なども含め、マーケティングなど専門的なアドバイスが必要とされています。



# 今後の活動(第4フェーズ)

## 第4フェーズの支援事業

### 1. 社会的弱者支援

- 高齢者への物資支援及びコミュニティ活動開催
- こどもたちのメンタルサポート
- 非雇用者への就業訓練
- 遠隔地のコミュニティ再生事業



### 2. 持続可能なビジネス確立の支援

- マーケティングや販売の専門家と現地パートナーとの橋渡し
- 研修の提供



## 東北開発オフィサーより

被災地のニーズに応えた効果的な事業が実施でき、被災地の復興に貢献することができました。しかしながら、まだ、被災地には支援を必要としている人たち(高齢者、子どもなど)がいます。その人たちを支える活動を実施するために、更なる支援をお願いいたします。

東北開発オフィサー 木下香奈子、菅野芳春



ホープ・インターナショナル開発機構は貧しい人々への思いやりの気持ちを広げる活動をしています。

## ミッション・ステートメント

ホープ・インターナショナル開発機構は、途上国に住む貧しい人々に対しての自立支援活動を通じて生活状況の改善を行っています。同時に、先進国に住む人々に対して国際開発についての理解を促進し、世界の貧困撲滅のための行動を推進しています。

## 目 標

1. 途上国に住む貧しい人々の自立支援
2. ホープに関わる全ての人の人間的成長の促進
3. 先進国の人々に対する途上国の現状についての理解促進
4. 先進国の人々が途上国の支援を行う機会の提供
5. 先進国と途上国の協調関係の構築

特定非営利活動法人 **ホープ・インターナショナル開発機構**

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-16-2 神谷ビル2F  
Tel : 052-204-0530 Fax : 052-204-0531  
Eメール : info@hope.or.jp



HOPE International  
Development Agency



[www.hope.or.jp](http://www.hope.or.jp)

